

すわみつえ通信

No.192 2021年10月4日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

市民と野党の共闘で政権千代田!

私の日曜日の朝は午前3時に始まります。地域で「しんぶん赤旗日刊紙」を2時間かけてゆっくりと配達します。夏が過ぎて今時は季節をひとり占めている心地よさがあります。帰宅するころには朝日が空にグラデーシオンを描き壮大です。

中秋の名月も夜ではなく朝に残る月を愛でました。

中秋の名月 9月22日(水)午前5時
赤見橋から西の空を仰いで



さて、自民党総裁選が終わり、岸田文雄前政調会長が新総裁に選出されました。岸田氏は、安倍晋三前政権から菅政権までの約9年のうち、7年9カ月にわたり外相や自民党政調会長を歴任しています。長く政権の中枢に身を置いてきた岸田氏に政治の行き詰まりは打開できません。いよいよ総選挙です。野党4党と市民連合は憲法にもとづく政治の回復

など共通政策で合意しました。9月30日には日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の枝野幸男代表が来る総選挙と、自民・公明政権を倒した後の『新政権』において協力することで合意しました。1970年代に民主連合政府を目指そうという呼びかけに、私は日本共産党と出会い一員となりました。野党連合政権を目前にし、決意を新たにしています。

新型コロナ対策 鴻巣市独自の支援

中小企業・個人事業主のみなさんへ

売上が減少し、次の要件が合う市内事業者の方へ給付をします。申請期間は、2021年11月1日～2022年1月31日です。給付内容と給付条件は次の通りです。

【事業継続支援給付金】: 10万円

●セーフティネット4号の認定がされ融資決定されている。

●埼玉県酒類販売事業者等協力金を受給している。

●埼玉県外出自粛等関連事業者協力金を受給している。

【家賃等支援給付金】: 10万円

●埼玉県中小企業・個人事業主等家賃支援金を受給している。

小・中学校の児童・生徒のいるご家庭へ

自宅でオンライン学習ができるよう、家庭用モバイルルーターの貸出を次の対象者にいたします。

●就学援助等受給世帯で自宅にインターネット環境がない児童生徒。

18歳までの子どもたちへ

読書の秋に読書カード3000円分を贈ります。

●18歳以下(平成15年4月2日生まれ)の子どもたち全員。

市民のみなさんへ 読書の秋に読書カード3000円分を贈ります。

「ここのすシネマ」で市民カードを提示するとワンコイン(500円)で映画が観られます。

実施期間は、2021年11月1日から2022年1月31日です。

※市民カードは市内在住・在勤・在学を証明できる書類を持参で、ここのすシネマが発行します。

俳句コーナー

白秋の闇ふくらませるコロナかな

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

政権協力で合意 共産・志位委員長 と立憲民主党・枝野代表が会談



(左から)日本共産党・小池晃書記局長、志位和夫委員長、立憲民主党・枝野幸男代表、福山哲郎幹事長=9月30日、国会内

■党首会談での合意事項

両党は以下の点を協力することで合意した。

1、次の総選挙において自公政権を倒し、新しい政治を実現する。

2、立憲民主党と日本共産党は、「新政権」において、市民連合と合意した政策を着実に推進するために協力する。その際、日本共産党は、合意した政策を実現する範囲での限定的な閣外からの協力とする。

3、次の総選挙において、両党で候補者を一本化した選挙区については、双方の立場や事情の違いを互いに理解・尊重しながら、小選挙区での勝利を目指す。

日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の枝野幸男代表は9月30日、国会内で会談し、「総選挙」と「新政権」に関して、両党が協力することで合意しました。会談では、冒頭、枝野氏が、総選挙での両党の協力について3点を提案したのに対して、志位氏は、「全面的に賛同します。枝野代表の決断に敬意を表します」と応じ、両党の公式の合意として確認されました。

志位氏は「今回の党首合意は、市民と野党の共闘を大きく発展させる、画期的な内容になったと思います」と述べ、「とくに『新政権』において両党が協力していくことが合意されたことは極めて重要な前進です。こうした合意を得られたことを心からうれしく思っています」と語りました。

また、日本共産党の99年の歴史でこうした合意を得て総選挙をたたかうのは初めてのことだと述べるとともに、2015年9月に国民連合政府を呼びかけて以来、市民と野党が協力して新しい政権の実現を訴えてきたが、「それに向けて大きな一歩を踏み出す合意を得られたことを、重ねて心から歓迎します」と表明しました。

さらに、この間、党として「閣内協力も閣外協力もありうる」と表明してきたと述べ、今回の「限定的な閣外からの協力」という合意に「とても満足しています」と表明。合意で「新政権」における協力を確認した市民連合との共通政策は、「あれこれの部分的な政策ではなく、9年間の『安倍・菅自公政治』をチェンジする要となる政策がしっかり盛り込まれている」として、「『新政権』において、そうした政策の実現のための協力が合意されたことの意義は大変に大きいと考えます」と述べました。

その上で「この合意を力にして、協力して選挙に勝ち、政権交代を実現し、新しい政権をつくるために全力をあげる」と表明しました。

会談では、枝野氏から10月4日の首相指名選挙での投票の要請もあり、志位氏は「こういう内容が合意された以上、当然、枝野代表に投票します」と答えました。また、臨時国会では、本会議での代表質問にとどめず、予算委員会での一問一答で国政の基本争点を明らかにして国民の審判をおおぐべきことを、党首レベルで発信していくことでも合意しました。(しんぶん赤旗 10月1日付)

迷い猫の「玉ちゃん」3週間ぶり帰宅 本紙投稿がきっかけ



秋田県由利本荘市西目町で迷子になった飼い猫が先月下旬、約3週間ぶりに飼い主の元へ戻った。猫を預かっているという本紙くらし欄「えんぴつ四季」の投稿がきっかけで、関わった人たちも喜んでいる。

投稿は、同市西目町の竹内睦子さん(76)が執筆した「玉ちゃん」。先月22日付に掲載された。

うちの猫かもしれない。新聞に掲載された翌日の夕方、グラウンドゴルフ場近くに住む阿部美智子さん(53)が名乗りを上げた。記事の切り抜きを手に玉寿会のメンバーを訪問。そのつてを頼りに猫を預かっていた鷹島(たかしま)重雄さん(83)にたどり着いた。対面すると、すぐにわが家の猫と分かった。【秋田魁新報 10月3日配信】